

道労連NEWS

現場の声で賃上げの道をきりひらこう!

発行日：2026.03.18



ホームページ <https://www.dororen.gr.jp> Xアカウント @DOROREN1060 フェイスブック@union.dororen

米を作る人、運ぶ人、売る人。そして食べる私たち。 「令和の百姓一揆」一緒に声あげよう!

— 食の未来を支える・守るために —

3月29日に「令和の百姓一揆」北海道集会在「日本の食と農を守ろう」をメインスローガンにして札幌で開催されます。「国産の食料を守りたい」という願いは、農家も消費者も同じはず。私たちが求めるのは、農業を「持続可能な仕事」にすること。そして、誰もが安心して食料を手にする未来です。農業者、流通、そして消費者の現状を知ること、伝えること、そして一緒に声をあげることが必要です。

食卓を襲う“自己責任”農政と、悲鳴を上げる流通の現場

一昨年来、日本中を震撼させた「令和の米騒動」。スーパーの棚から米が消え、ようやく並んだと思えば以前の1.5倍近い値札がつく。そんな光景は、もはや「一過性のパニック」では済まされない、主食・米の構造的な崩壊を露わにしました。日本の食と農を守るための「一揆」へ、ぜひご参加ください。

「市場任せ」という名の突き放し。誰のための米政策か

高市政権と鈴木農水相が進めようとしているのは、一見、耳あたりの良い「需要に応じた米生産」という言葉です。しかし、その実態は「政府はもう面倒を見ない」という、冷徹な自己責任の押しつけに他なりません。長年の減反政策によって生産基盤は弱り、わずかな不作でパニックが起きる。それにもかかわらず、鈴木農水相は「価格は市場で決まる」と繰り返します。

米価が暴騰して消費者が泣こうが、暴落して農家が倒れようが、政府は責任を取らない。そんな姿勢が、将来にわたる「米騒動」の火種をくすぶらせています。

板挟みの「流通業者」を襲う、在庫と赤字の恐怖

この歪な政策のしわ寄せは、農家だけでなく、私たちの街の米屋さんや卸売業者にも直撃しています。

店頭価格が高止まりする中、消費者の「米離れ」が加速しています。流通業者は「高く仕入れざるをえなかった米」が売れ残る懸念を抱えています。

一方で、政府が備蓄米の放出や買い入れ中止を行った結果、民間在庫が膨らみ、「米価暴落」の予感に流通現場は凍りついています。「売れば売るほど赤字になるかもしれない」。そんな不安が流通網を締め付け、地域の小さな米店がまたひとつ、シャッターを下ろそうとしています。



消える「労働者」—米は誰が運ぶのか？

米を巡る危機は、生産・流通過程を支える「働く人々」の労働問題とも密接にリンクしています。所得補償が切り捨てられ、水田交付金が廃止されれば、ただでさえ高齢化が進む農村から農業を支える労働者や若手農家が真っ先に消えていきます。

また、米は重く、運び手に大きな負担がかかる重労働です。生産性の向上という美名のもとに支援を絞れば、集荷・輸送に関わるドライバーや倉庫作業員の賃金は抑制され、現場の疲弊はさらに増大します。「明日、食べる米がない」のではない。「明日、米を届けてくれる人がいない」。そんな未来が、すぐそこまで来ています。

食の未来を守ろう！ ともに「百姓一揆」へ

政府は来年から、長年続いた水田転作政策から事実上撤退しようとしています。これは、国民の命を支える「主食の安定供給」を放棄するに等しい暴挙です。

昨年、各地で巻き起こった「令和の百姓一揆」。そこには農家だけでなく、将来を不安視する多くの消費者や労働者など市民の姿がありました。「大軍拡や大企業には予算を惜しまないのに、なぜ私たちの『白ごはん』は守られないのか」—その切実な声を、3月末に再び各地で沸き上がらせましょう。

米を作る人、運ぶ人、売る人。そして食べる私たち。今こそ、この「亡国農政」を食い止めるために、立場を超えてともに声を上げましょう。

農業従事者数の推移(1960年～2024年)

日本の高度経済成長期から現在まで、およそ60年間の変化

年次	基幹的農業従事者数	状況のポイント
1960年	約1,175万人	農村に活気があり、若者も多く従事していたピーク時
1990年	約293万人	バブル期。30年で4分の1近くまで激減
2000年	約240万人	離農の加速が止まらず、減少傾向が定着
2023年	約116万人	この20年あまりでさらに半分以上に減少
2024年	約111万人	前年からさらに約5万人減少(現在進行形の危機)

「令和の百姓一揆」北海道集会 3月29日(日)

集会13:30～15:00 / トラクターデモ15:15～16:15

集会会場「北海道クリスチャンセンター」2F・ホール

デモ出発地点「北7西6→道庁北→北4西1(北農ビル前)で流れ解散」